

捨てずにリユースすれば笑顔の輪が広がる

まだ十分に使える家具や家電、衣服などを捨てていませんか？
必要としている人に譲れば、喜んでもらえるかもしれません。
そんな「リユース(繰り返し使う)」の考え方が広がり、国内のリユース市場はこの10年で約2倍に拡大しています。リユースを習慣にして「ありがとう」の輪を広げませんか？

やかみっこキッチン

リユースで笑顔を増やしたい

美原区の子ども食堂「やかみっこキッチン」では、成長して着れなくなった服やおもちゃ、絵本などを持ち寄って欲しい人に譲る「お下がり会」を不定期に開催。毎回たくさんの物品が集まり、譲る方も持ち帰る方も笑顔になれる取組として好評です。



「きれいに着ていた服だから」「お気に入りのおもちゃだけでもう遊ばないから」と新しい持ち主を求め、大切に保管されていた衣服やおもちゃが集まる

小・中学校の制服の譲り合いから始まったお下がり会。毎回倉庫いっぱい衣服やおもちゃが集まります。今では近隣の人やお店など、子ども食堂を利用される方以外も参加され、「誰かの役に立ててほしい」という善意の輪が広がっているのを感じます。近隣の子ども食堂も同じ取組を始めたとき、地域で助け合えるリユースの取組が広がっていることをうれしく思います。



やかみっこキッチンの皆さん

ジモティーを上手に使いえば、ごみを減らして笑顔が広がる

ジモティーは誰でも無料で使えるインターネットの掲示板で、物の譲り合いなどの申し出や要望を載せることができます。地元の情報に絞って閲覧できるため、堺でも多くの方が利用しています。



市もリユースに取り組んでいます



全国のクリーンセンターに持ち込まれる粗大ごみの中には使えるものも多く、「もったいない」と思ってもリユースの手段が分からずに捨てられるものも少なくありません。ジモティーでは0円で出品ができるうえ、地域の中で取り引きできます。そのメリットをごみ減量につなげたいという思いで、堺市をはじめさまざまな自治体とリユース促進に向けた協定を結んできました。家庭で不要になった家具や家電などを捨てる前にぜひジモティーを利用して、出品の検討をしてください。

ジモティー 広報担当 宮本亮さん

まだ使える廃棄品をジモティーで譲ります

市ではクリーンセンターに持ち込まれる粗大ごみのうち、状態の良いものをジモティーに出品する実証事業を行っています。



「ジモティー」を活用した粗大ごみリユース実証事業



14年間動める中で、まだまだ使えるものが捨てられている状況を「もったいない」と感じてきました。捨てる前に立ち止まって考える習慣を、私たち職員も含めて市民の皆さんと築いていきたいです。



クリーンセンター 職員



ごみ減量には皆さんの協力が必要です

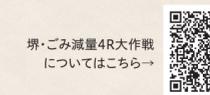
清掃工場に負担がかかっています

市では年間約25万トンのごみを焼却処理しています。老朽化する焼却処理施設もある中、高い稼働率で運転しており、この状態が続くといつ工場が停止してもおかしくない状況です。今後、安定的な稼働を続けるためにも、さらなるごみ減量が必要です。



ごみから環境問題を解決したい

市では2024年3月まで、ごみ減量に集中的に取り組む「堺・ごみ減量4R大作戦」を実施しています。皆さんのおかげでごみは減量しているものの、目標達成まであと一歩の状況です。



1人1日あたり 18g(ミニトマト約1個分)の減量が目標です

リユースを習慣に

使わなくなったものをすぐに捨てるのではなく、必要とする人に「譲る」ことや修理して「使う」ことを考えてほしいと思います。リユースにはアプリやショップ、地域のフリーマーケットや交換会などさまざまな手段がありますので、自分に合った方法を見つけてください。

一緒にリユースを含めたごみ減量に取り組んで、環境に優しいことを実践しましょう



環境局職員

リユースに取り組む店舗を市では応援しています

堺エコライフポイント事業

環境に良い行動にポイントを付与する「堺エコライフポイント事業」を実施しています。対象店舗で服を売る(または無料譲渡する)と650ポイントがもらえます。



セカンドストリート 新金岡店 石田明衣さん

循環型社会の実現に向けて「リユース」の選択肢をもっと広めたい、という思いで事業に参画しました。リユース品を持ち込む時はきれいにして、付属品があれば忘れず持ってきてくださいね。

エコショップ

日用品のリユースや使い捨てプラスチックの削減など、環境に優しい取組を行っている店舗を「エコショップ」として認定しています。



たからや時計店 大山正二さん

古くなって壊れてしまったものでも、修理や部品の交換によって新しい命を吹き込むことができます。お子さんやお孫さんが受け継ぐことで、物に込められた気持ちや思い出を引き継がれていくと思います。